

# 2022 Tottori ShinkinBank

第72期

業務報告書 兼 ミニ・ディスクロージャー誌

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日

人と、地域と、  
未来を笑顔でつなぐ

うれしいとき、幸せなときぼっと咲く笑顔。  
小さな笑顔が、また笑顔とつながり  
たくさんの笑顔がつながってこの街を、明るく輝かせます。

この街に生まれ、この街に生きる  
いままでも、これからも

とりしんは、この街の家族の笑顔をずっと、ずっと、  
未来までつなげます。



倉吉市

智頭町

八頭町

若桜町

鳥取市

岩美町

美郷町

掲載写真は、「未来へつなぐ笑顔フォトコンテスト」の入賞作品です。

ふれあい 大好き  
鳥取信用金庫  
<https://www.shinkin.co.jp/torishin/> 鳥取県 鳥取市

当行は、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、  
社会全体の持続可能な発展に努めます。  
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鳥取信用金庫

ふれあい大好き  
とりしんです

## この街に生まれ、この街に生きる いままでも、これからも

皆さまには、平素より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

2021年のわが国経済は、年明け早々感染力を増したデルタ株拡大により、東京五輪は無観客での開催となり、個人消費の低迷も影響し、観光業や宿泊業などの対面サービス業を中心に前年に引き続き厳しい状況で推移しました。加えて、半導体不足やウッドショック、サプライチェーンの混乱等、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が各方面に暗い影を落としました。

財政・金融面では、欧米でのインフレ抑制に向けた金融政策転換に反し、日本銀行はYCC政策を継続し、金融機関の収益環境は人口減少やデジタル化の進展等も相俟って、一層厳しさを増しています。地場他行においてもATM台数の削減、鳥取市中心市街地の店舗での窓口業務の集約や出張所化・サテライト化等、長引く低金利環境下で生き残りをかけ収益確保へ向けた取組みが一段と加速しています。

このような状況の中で、当金庫は、SDGsの理念に通じる「持続可能な社会の実現」を目指し、「未来へつなぐ」のキャッチフレーズの下、長引くコロナ禍で厳しい業況が続く事業者の皆さまへの資金繰り支援や各種補助金のご案内など、地域との「共通価値の創造」実現へ向け、お客さまのニーズに応じた様々な施策に取り組んでまいりました。

業績につきましては、預金残高は、1,941億41百万円、貸出金残高は1,066億51百万円となり、収益面ではコア業務純益8億57百万円、当期純利益1億26百万円を確保することができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

2022年度は、“とりしん共創共生3か年計画NEXT”の2年目の年です。鳥取県内でも「オミクロン株」による第6波の影響で感染者数が高止まりするなど、厳しい状況が続いていますが、「地域社会の持続的繁栄と、豊かな未来の創造」のビジョンと、SDGsの「誰一人取り残さない」「住み続けられる街づくり」の理念を役職員が共有し、お客さまに寄り添う「伴走型金融支援」に役職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

今後とも、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月  
理事長 田村 博信



## 経営理念

とりしんの経営理念は、「存在意義」「経営姿勢」「行動規範」の3つの柱で構成しています。

ふれあいを大切に、  
裾野金融に徹した経営を  
すすめます。

とりしんは、お客さまを大切に  
し、積極的で、きめこまやかな  
柔軟性のある健全経営をすすめ  
ます。



地域社会の繁栄を願い、  
豊かな未来づくりに  
貢献します。

とりしんは、地域、会員、お客  
さまとともに歩み、中小企業の  
繁栄と人びとの豊かな暮らしに  
貢献します。

常に情熱を燃やし、進取の心でチャレンジします。

わたくしたちは、知性を磨き明るく積極果敢に行動し、地域の  
人びとや企業に親しまれ、信頼される信用金庫人をめざします。

## 当金庫の概要

(2022年3月31日現在)

創 業	昭 和 25 年 8 月	貸 出 金	1,066 億 51 万 円
所 在 地	鳥 取 市 栄 町 6 4 5 番 地	店 舗 数	18 店 舗
出 資 金	24 億 45 万 円	会 員 数	19,130 名
預 金 積 金	1,941 億 41 万 円	常 勤 役 職 員 数	198 名

(注) 本業務報告書 兼 ミニ・ディスクロージャー誌の計数については、単位未満切り捨てにより表示しています。

## 預金・貸出金の推移と構成、預かり資産の推移

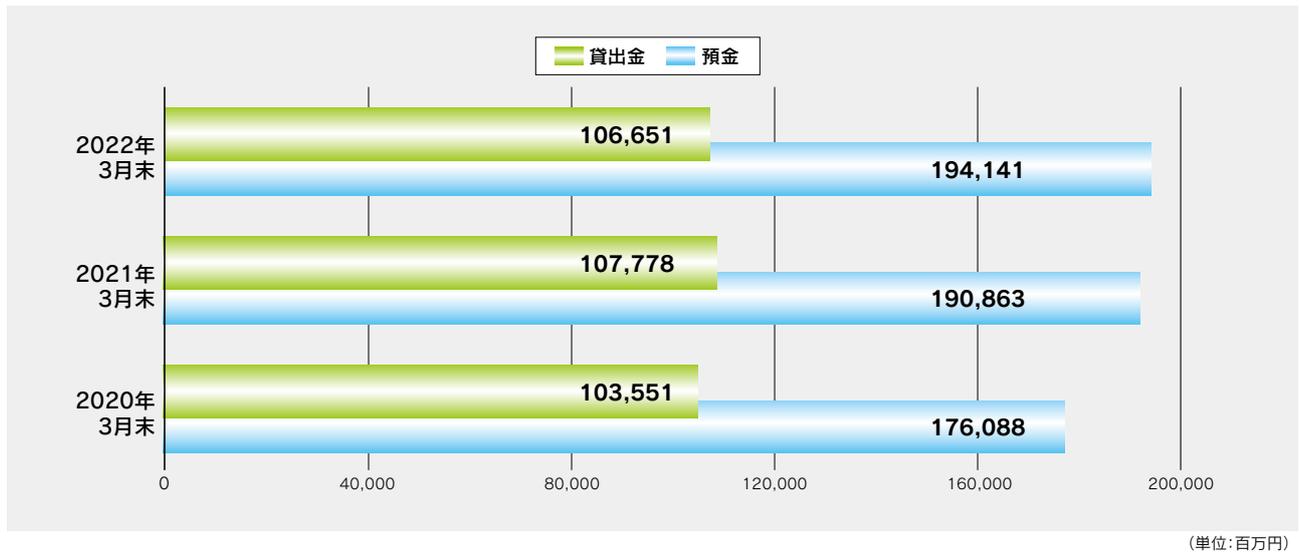
当金庫は、地域に密着した金融機関として、地域経済の活性化に積極的に貢献するとともに、健全経営に努めてまいりました。

預金につきましては、法人・個人預金の増加により、期末残高は前年対比で32億78百万円増加の1,941億41百万円となりました。

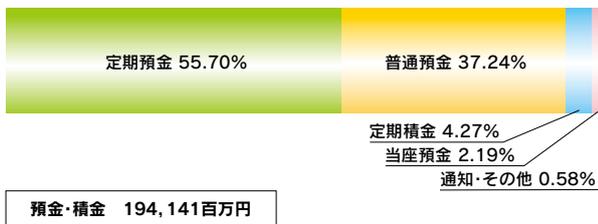
貸出金につきましては、コロナ関連特別融資等事業者向け融資を中心に積極的に取り組みましたが、期末残高は前年対比で11億27百万円減少の1,066億51百万円となりました。

預かり資産につきましては、前年対比で89百万円増加の53億33百万円となりました。

### 預金・貸出金の推移



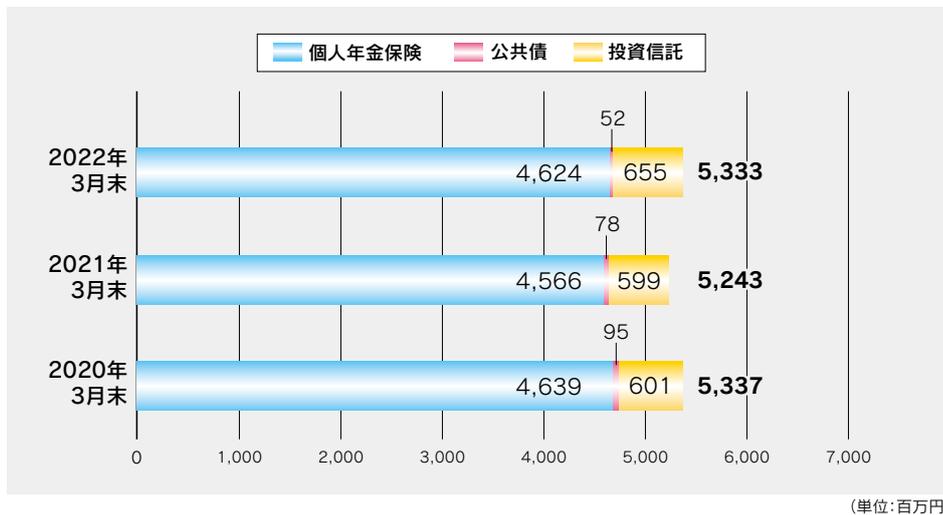
### 預金・積金の構成 (2022年3月末)



### 貸出金の構成 (2022年3月末)

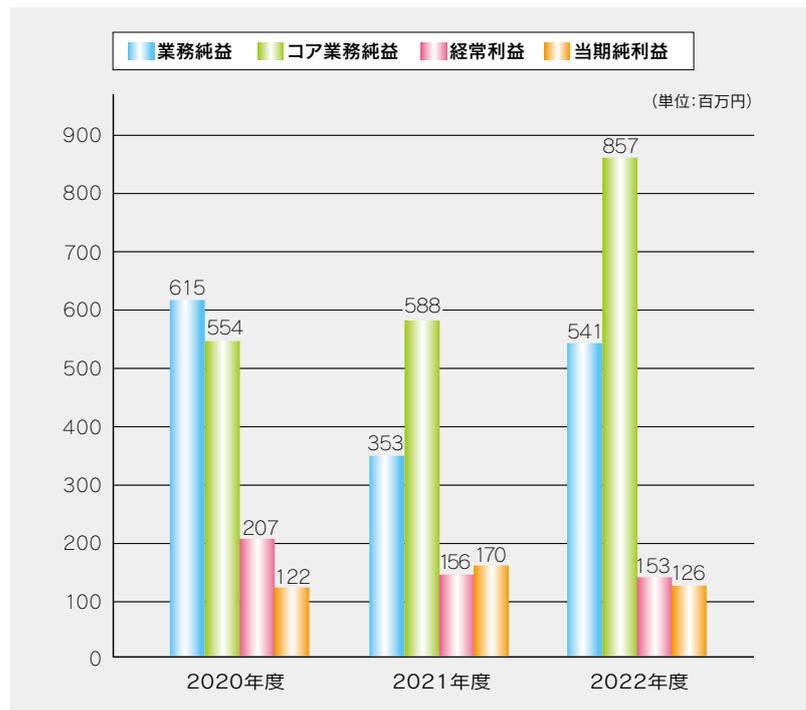


### 預かり資産の推移



## 利益の状況

収益につきましては、貸出金残高の減少により貸出金利息は減少しましたが、資金運用の効率化と物件費等コスト抑制に努めた結果、業務純益は前年対比1億87百万円増益の5億41百万円となりました。なお、当期純利益につきましては、前年対比44百万円減益の1億26百万円となりました。



### ■業務純益

業務純益は、金融機関の本来の業務（資金の運用・調達、サービスの提供など）で、どれだけの利益をあげたかを表す利益指標です。一般企業の営業利益に相当します。

### ■コア業務純益

コア業務純益は、業務純益から一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入、国債等債券関係損益等）を除いた金融機関の本来業務での収益力を表す指標です。

### ■経常利益

経常利益は、業務純益に株式等損益および不良債権処理に要した費用などを加減したものです。

### ■当期純利益

当期純利益は、経常利益に特別損益を加減して、税金などを控除した後の純利益です。

## 単体自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は、金融機関の財務体質の安全性を示す評価指標であり、国内業務を行う金融機関は、4%以上を維持することが求められています。

2022年3月末の自己資本比率は8.43%となり、国内基準の4%を大きく上回っていますが、引き続き自己資本の充実に努めてまいります。



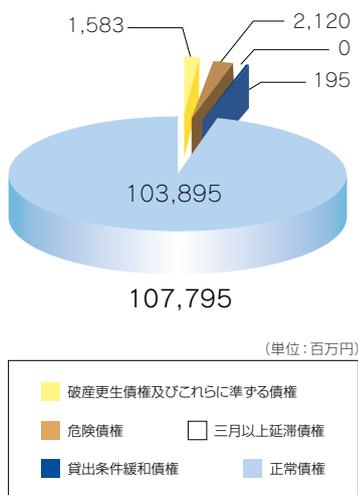
## 信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況(単体)

信用金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(「金融再生法」)に基づいて、当金庫の保有する債権の資産査定を行った結果は以下のとおりです。

信用金庫法及び金融再生法上の不良債権は、前年度に比べて91百万円増加して39億円となりました。この開示債権のうち、35億299百万円が担保・保証及び貸倒引当金により保全されており、保全率は90.49%となっています。

(単位:百万円)

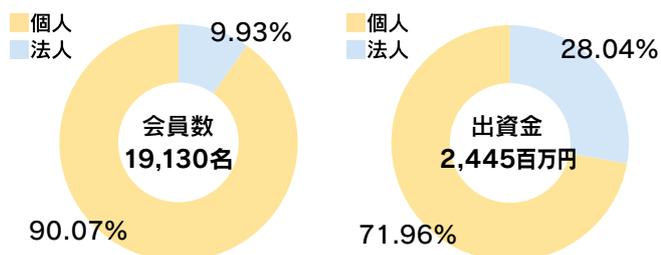
区 分	2021年3月末	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,522	1,583
危険債権	2,086	2,120
要管理債権	201	196
三月以上延滞債権	1	0
貸出条件緩和債権	199	195
小計(A)	3,809	3,900
保全額(B)	3,581	3,529
個別貸倒引当金(C)	1,477	1,275
一般貸倒引当金(D)	24	23
担保・保証等(E)	2,080	2,230
保全率(B) / (A) (%)	94.02%	90.49%
引当率((C) + (D)) / ((A) - (E)) (%)	86.82%	77.72%
正常債権(F)	105,142	103,895
総与信残高(A) + (F)	108,952	107,795



- 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 6.「個別貸倒引当金(C)」は、貸借対照表上の個別貸倒引当金の額のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。
- 7.「一般貸倒引当金(D)」は、貸借対照表上の一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。
- 8.担保・保証等(E)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 9.「正常債権(F)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
- 10.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は貸借契約によるものに限る。)です。

## 会員・出資金について

(2022年3月末)



## 総代会・登記事項

### 総代会に関する事項

2021年6月28日、第71期通常総代会を開催し、下記の事案が承認可決されました。

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 第1号議案 | 剰余金処分案承認の件        |
| 第2号議案 | 所在不明出資会員除名の件      |
| 第3号議案 | 理事の選任の件           |
| 第4号議案 | 監事の任期満了に伴う選任の件    |
| 第5号議案 | 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件 |

### 登記に関する事項

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 2021年4月 | 出資の総口数及び総額の変更登記 |
| 2021年6月 | 代表理事の変更登記       |

## 貸借対照表

第72期(2022年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金	2,362
預け金	32,821
買入金銭債権	14
<b>有価証券</b>	<b>62,284</b>
国債	1,642
地方債	10,698
社債	2,135
株式	140
その他の証券	47,667
<b>貸出金</b>	<b>106,651</b>
割引手形	331
手形貸付	9,377
証書貸付	89,685
当座貸越	7,255
<b>その他資産</b>	<b>1,226</b>
未決済為替貸	15
信金中金出資金	858
前払費用	9
未収収益	211
その他の資産	131
<b>有形固定資産</b>	<b>2,836</b>
建物	680
土地	1,880
リース資産	34
その他の有形固定資産	241
<b>無形固定資産</b>	<b>25</b>
ソフトウェア	4
その他の無形固定資産	21
前払年金費用	—
繰延税金資産	481
債務保証見返	1,091
貸倒引当金	△ 1,947
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,275)
<b>資産の部合計</b>	<b>207,849</b>

科目	金額
<b>負債の部</b>	
<b>預金積金</b>	<b>194,141</b>
当座預金	4,259
普通預金	72,308
通知預金	149
定期預金	108,137
定期積金	8,301
その他の預金	986
<b>借入金</b>	<b>5,172</b>
借入金	5,171
当座借越	0
<b>その他負債</b>	<b>436</b>
未決済為替借	30
未払費用	100
給付補填備金	6
未払法人税等	12
前受収益	64
払戻未済金	12
払戻未済持分	36
職員預り金	68
リース債務	34
資産除去債務	37
その他の負債	30
<b>賞与引当金</b>	<b>52</b>
<b>退職給付引当金</b>	<b>18</b>
<b>役員退職慰労引当金</b>	<b>90</b>
<b>その他の引当金</b>	<b>12</b>
<b>再評価に係る繰延税金負債</b>	<b>196</b>
<b>債務保証</b>	<b>1,091</b>
<b>負債の部合計</b>	<b>201,212</b>
<b>出資金</b>	<b>2,445</b>
普通出資金	2,445
<b>利益剰余金</b>	<b>4,031</b>
利益準備金	1,180
その他の利益剰余金	2,851
特別積立金	2,610
当期末処分剰余金	241
<b>会員勘定合計</b>	<b>6,477</b>
その他有価証券評価差額金	△ 308
土地再評価差額金	468
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>159</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>6,637</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>207,849</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

第72期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>3,157,083</b>
資金運用収益	2,897,671
貸出金利息	1,993,155
預け金利息	53,930
有価証券利息配当金	829,070
その他の受入利息	21,514
<b>役務取引等収益</b>	<b>210,467</b>
受入為替手数料	79,080
その他の役務収益	131,386
<b>その他業務収益</b>	<b>30,502</b>
国債等債券売却益	6,253
国債等債券償還益	—
その他の業務収益	24,249
<b>その他経常収益</b>	<b>18,442</b>
貸倒引当金戻入益	—
償却債権取立益	840
株式等売却益	1,070
金銭の信託運用益	—
その他の経常収益	16,531
<b>経常費用</b>	<b>3,003,732</b>
資金調達費用	62,075
預金利息	58,745
給付補てん備金繰入額	3,003
借入金利息	3
その他の支払利息	323
<b>役務取引等費用</b>	<b>194,454</b>
支払為替手数料	11,225
その他の役務費用	183,229
<b>その他業務費用</b>	<b>224,116</b>
国債等債券売却損	—
国債等債券償還損	222,416
国債等債券償却	—
その他の業務費用	1,699

科目	金額
<b>経費</b>	<b>2,032,262</b>
人件費	1,250,322
物件費	709,921
税金	72,018
<b>その他経常費用</b>	<b>490,823</b>
貸倒引当金繰入額	245,876
貸出金償却	19,848
株式等売却損	—
株式等償却	2,454
金銭の信託運用損	—
その他資産償却	—
その他の経常費用	222,644
<b>経常利益</b>	<b>153,351</b>
<b>特別利益</b>	<b>—</b>
固定資産処分益	—
その他の特別利益	—
<b>特別損失</b>	<b>6,900</b>
固定資産処分損	5,910
減損損失	—
その他の特別損失	990
<b>税引前当期純利益</b>	<b>146,451</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>17,489</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>2,703</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>20,192</b>
<b>当期純利益</b>	<b>126,258</b>
<b>前期繰越金</b>	<b>112,025</b>
<b>土地再評価差額金取崩額</b>	<b>3,337</b>
<b>当期末処分剰余金</b>	<b>241,621</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 第72期剰余金処分

(単位:円)

科目	金額
当期末処分剰余金	241,621,488
積立金取崩額	—
特別積立金取崩額	—

これを下記のとおり処分する。

(単位:円)

科目	金額
<b>剰余金処分額</b>	<b>128,665,026</b>
利益準備金	20,000,000
普通出資に対する配当金 (年 2%)	48,665,026
優先出資に対する配当金 (年 - %)	—
事業の利用分量に対する配当金 (一円につき一円の割)	—
特別積立金	60,000,000
<b>次期繰越金</b>	<b>112,956,462</b>

左記のとおり報告いたします。

2022年6月

### 鳥取信用金庫

理事長	田村博信
常務理事	西谷佳和
常務理事	村上哲
常務理事	花原好一
常勤理事	杉内博文
常勤理事	田村文孝
常勤理事	椎名康弘
理事	藏増篤志
理事	谷口博繁

以上各項監査の結果、適正であることを認めます。

2022年6月

常勤監事	和田達朗
監事	藤原重明
監事	小林裕幸

(注) 監事 藤原重明、小林裕幸は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

2021年  
4月  
6月  
9月  
10月  
11月  
2022年  
2月  
3月

- WEB完結ローンの取扱商品拡充  
(1商品から6商品へ)
- 日本のアニメーション美術の創造者「山本二三展」に特別協賛
- 「窓口ディスプレイコンテスト」を実施  
(2021年6月～2022年2月)
- 「信用金庫の日」のPR活動を実施
- 献血に協力
- 「通帳アプリ定期預金」の取扱開始
- 第71期総代会を開催
- 田村理事長就任
- 新理事長就任記念 SDGs応援定期預金『未来へつなく』の取扱開始(2021年6月～10月)
- 鳥取県警察、鳥取県と連携して「STOP ATMでの携帯電話」特殊詐欺防止運動を実施
- 職域フリーローン(WEB完結専用)の取扱開始
- 鳥取砂丘除草ボランティア活動に参加
- 山陰海岸ジオパークin因幡・但馬2021に特別協賛
- 鳥取県、島根県の6信用金庫による「山陰しんきん『食』」のオンライン商談会を開催
- 2年振りに開催となった「鳥取しゃんしゃん祭」一斉傘踊りに参加(無観客)
- 鳥取市ヘジオサイトの保全や教育、観光、地域産業等の各分野で、連携してSDGsに取り組んでいくことを目的にSDGs応援定期預金『未来へつなく』に係る寄付金50万円を贈呈
- 遺言・相続全国一斉相談会をオンライン(WEB)開催
- 「事業性評価コンテスト」を実施
- 「未来へつなく笑顔フォトコンテスト」で写真を公募してイメージポスターを作成
- 信中央金庫が実施する地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」に、当金庫が推薦した鳥取市の「街なか居住推進事業」が採択



日本のアニメーション美術の創造者「山本二三展」(2021年4月)  
もののけ姫《シン神の森(2)》  
1997年 ©1997 Studio Ghibli-ND



通帳アプリ定期預金(2021年6月)



新理事長就任記念  
SDGs応援定期預金『未来へつなく』  
(2021年6月～10月)



職域フリーローン(WEB完結専用)  
(2021年10月)



山陰しんきん「食」のオンライン商談会(2021年10月)



鳥取市へSDGs応援定期預金『未来へつなく』に係る寄付金を贈呈(2021年11月)



第57回鳥取しゃんしゃん祭(2021年10月)



# SDGs宣言

鳥取信用金庫は、協同組織の理念である相互扶助の精神並びに「地域社会繁栄への奉仕」「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」という信用金庫のビジョンのもと、事業活動を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、持続可能な地域社会の実現を目指します。

## 重点項目 1 パートナーシップの発揮



- 協同組織として、パートナーシップの発揮や地域社会とのネットワークの更なる強化に努め、もって地域全体で持続可能な社会の実現を目指します。
- 複雑化、多様化する地域社会の課題やニーズに適切に対応するため、全国の信用金庫や中央機関等との業界ネットワークを積極的に活用することで、地域の制約を超えた質の高いサービスの提供に努めます。

## 重点項目 2 地域経済の持続的繁栄



- 社会経済環境に応じて変化するお客さまのニーズや課題を踏まえた信用金庫らしいサービスの提供に努め、地域とともに持続的な発展を目指します。
- 中小零細事業者の経営サポートを一段と強化し、事業活動の持続可能性を高めることを通じて、地域経済の維持・発展に貢献します。
- 技術革新や社会構造の変化を踏まえ、先進的な金融サービスの提供への取組みを通じて地域経済の発展に貢献します。
- 地域の将来を担う次世代の人材確保や育成につながる取組みをサポートします。

## 重点項目 3 暮らしやすい地域社会の実現



- 地域を支えるみなさまの健康や福祉の増進につながる取組みに努めます。
- 高齢のお客さまにとって、わかりやすく利用しやすい金融サービスの提供を目指します。
- 地域のみなさまの将来に向けた安定的な資産形成をサポートします。
- 地域や関係機関との連携のもと、犯罪や不正の防止につながる取組みに努めます。
- 地域の貴重な資源である環境の保全につながる事業や取組みをサポートします。
- 職員にとって働きやすく多様な価値観を大切にす職場環境の実現に努めます。

## 地域金融円滑化の取組み

当金庫は、2010年2月1日に、中小企業金融円滑化法に対応して「地域金融円滑化のための基本方針」を定め、当金庫の取組方針、金融円滑化措置の実施に向けた態勢整備、金融円滑化に関する苦情・相談窓口などを公表するとともに、積極的に取り組んでまいりました。2013年3月31日に中小企業金融円滑化法の期限が到来しましたが、従来と変わらず、下記のとおり地域金融の円滑化に積極的に取り組んでおります。

1. 当金庫は、中小企業金融円滑化法の期限到来後も、これまでと同様に、他業態を含めた関係金融機関と緊密な連携を図りながら、貸付条件の変更や円滑な資金供給に取り組んでまいります。
2. 当金庫は、コンサルティング機能を積極的に発揮し、それぞれのお客さまの経営課題や問題点に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立って提案し、真の経営改善に向けた支援に取り組んでまいります。
3. 当金庫は、お客さまからの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様に、お客さまの抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に対応いたします。

### (1) 申込み、相談の受付体制

#### ○「金融円滑化相談窓口」の設置

各営業店に「金融円滑化相談窓口」を設置し、「金融円滑化相談責任者」、「金融円滑化相談担当者」を配置しています。

#### ○「金融円滑化苦情相談窓口」の設置

本部に「金融円滑化苦情相談窓口」専用フリーダイヤル(0120-260-262)を設置しています。

### (2) 「新型コロナウイルス感染症」により影響を受けているお客さまへの支援体制

#### ○「金融相談窓口」の設置

各営業店に「金融相談窓口」を設置し、「新型コロナウイルス対応責任者」、「新型コロナウイルス対応担当者」を配置しています。

#### ○「新型コロナウイルスに関する金融相談フリーダイヤル」の設置

本部に「新型コロナウイルスに関する金融相談窓口」専用フリーダイヤル(0120-267-104)を設置しています。

## 店舗のご案内

本店	鳥取市栄町645	☎ (0857) 23-2411
本店営業部	鳥取市栄町645	☎ (0857) 27-2600
若桜支店	八頭郡若桜町若桜426	☎ (0858) 82-0721
智頭支店	八頭郡智頭町智頭1648-1	☎ (0858) 75-0644
鳥取東支店	鳥取市吉方町2丁目525	☎ (0857) 23-0041
鳥取西支店	鳥取市川端4丁目128	☎ (0857) 23-0081
浜坂支店	美方郡新温泉町浜坂1098-6	☎ (0796) 82-1721
岩美支店	岩美郡岩美町浦富733-1	☎ (0857) 72-1444
気高支店	鳥取市気高町勝見695-1	☎ (0857) 82-0753
湯村支店	美方郡新温泉町湯1319-1	☎ (0796) 92-1220
鳥取南支店	鳥取市富安2丁目47	☎ (0857) 23-0061
鳥取北支店	鳥取市田園町4丁目384	☎ (0857) 23-0891
倉吉支店	倉吉市伊木214-7	☎ (0858) 26-3441
正蓮寺支店	鳥取市正蓮寺121-5	☎ (0857) 24-8251
湖山支店	鳥取市千代水4丁目18	☎ (0857) 28-4511
用瀬支店	鳥取市用瀬町用瀬471-8	☎ (0858) 87-3033
吉成支店	鳥取市吉成238-1	☎ (0857) 27-7221
郡家支店	八頭郡八頭町郡家645-6	☎ (0858) 72-3101
湖山中央支店	鳥取市湖山町北3丁目112	☎ (0857) 32-2800

## 出資会員の皆さまへ

### ATM時間外手数料の無料サービス

当金庫では、出資会員の皆さまが当金庫のATMをご利用の場合、時間外手数料を無料にしています。

#### 無料サービスの内容

平日：18時以降  
土曜日：14時以降  
日曜日・祝日：終日

時間外手数料110円が  
無料になります

ただし、次の場合は所定の手数料が必要です

- 提携先のATMをご利用時
- 共同設置のATMをご利用時
- ATMでの振込手数料

## 法人会員の皆さまへ

法人番号の届出をお願いしています。詳しくは、お取引店にお問い合わせください。

## お客さま相談窓口のご案内

ご相談、ご意見、ご要望	フリーダイヤル:0120-260-262
預金、ローンに関するご相談	フリーダイヤル:0120-267-104
インターネットバンキングに関するご相談	フリーダイヤル:0120-35-1701



〒680-0831 鳥取県鳥取市栄町645番地 TEL 0857-23-2411  
URL <https://www.shinkin.co.jp/torishin/>

2022年6月発行